

BODIPY との出会い

BODIPY 類（ボロン-ジピロメテン類の略称）は、バイオイメージングからオプトエレクトロニクスに至る広範な分野で用いられている有機色素で、470～530 nm の可視領域に強い吸収帯をもつ。優れた熱・光安定性に加えて高い蛍光量子収率の発現は魅力的な性質である。少なくとも一度は耳にしたことがある読者が大半であろう。「BODIPY」のキーワード検索で 6,590 件の論文がヒットした（2021 年 10 月 31 日、Scopus）。2008 年 4 月に遡る。筆者は首都大学東京（現 東京都立大学）都市環境学部へ異動した。公立大学という独特的雰囲気のなかで、エネルギー関連材料に対して何か一テーマを加えたいと考え、目をつけたのが BODIPY だった。・・・